

平成16年2月24日
東京電力株式会社

「リサイクル燃料備蓄センター」の立地協力要請について

当社は、平成12年11月にむつ市から使用済燃料中間貯蔵施設である「リサイクル燃料備蓄センター」の立地に係る技術調査（立地可能性調査）のご依頼をいただきました。この調査結果については、平成15年4月に施設の建設は技術的に可能であることをむつ市へご報告し、「事業構想」をお示しいたしました。

その後、むつ市議会等での調査、検討を踏まえ、市長の誘致表明を経て、平成15年7月には当社に対し、施設の立地についてご要請をいただきました。

当社では、これまで事業のあり方などについて検討を行ってまいりましたが、このほど、事業の基本的な枠組み等がまとまりましたことから、青森県むつ市に「リサイクル燃料備蓄センター」を立地させて頂くべく、本年2月18日、地元青森県及びむつ市に協力要請いたしました。

わが国では、原子力発電所の使用済燃料を再処理し、有用資源であるウラン・プルトニウムを回収したうえで、再び燃料として有効に活用する原子燃料サイクルをエネルギー政策の基本としています。

一方、国内の原子力発電所における使用済燃料の発生量やこれまでの貯蔵量、再処理工場の処理能力等を考慮すると、使用済燃料を再処理するまでの間、安全に貯蔵する施設が必要とされています。

当社としても、使用済燃料の中間貯蔵施設は、原子燃料サイクル全体の運営に柔軟性を付与する手段として必要な施設であると考えております。

当社といたしましては、安全確保を最優先に、地域社会との協調を図りながら、むつ市に「リサイクル燃料備蓄センター」を建設し、事業を運営していきたいと考えております。

以 上

<立地協力要請までの経緯>

- | | |
|----------|---|
| 平成12年11月 | むつ市より「リサイクル燃料備蓄センター」立地に係る技術調査依頼を受領 |
| 平成13年1月 | 立地可能性調査の文献調査を開始 |
| 同月 | むつ調査所開所 |
| 4月 | 立地可能性調査の現地調査開始 |
| 平成15年4月 | 「リサイクル燃料備蓄センター」を建設することは、技術的に可能との立地可能性調査結果報告 |
| 同月 | 事業構想公表 |
| 6月 | むつ市長が、市議会において誘致を表明 |
| 7月 | むつ市長より立地要請を受領 |
| 平成16年2月 | 青森県及びむつ市に立地協力要請 |